

# 株主の皆様へ

印刷事業における収益体制の確立と  
産業資材製造事業の早期立上げに取り組み、  
業績の回復ならびに持続的な成長と  
企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第123期中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の決算を行いましたのでご報告申し上げます。

## 経営環境について

インバウンド需要が回復し、雇用や所得環境の改善がみられる中、原材料やエネルギー価格の高止まりによる物価上昇を受けて個人消費が伸び悩むなど、景気は足踏みの状況となりました。また、中国経済の回復の遅れ、地政学的リスクの高まりなどの懸念から、先行きにつきましては不透明な状況で推移しました。

印刷業界におきましては、生活様式の変化ならびにデジタル化に伴う紙媒体の需要減少に加え、原材料やエネルギー価格の高騰が継続するなど、依然として厳しい状況が続いており、印刷技術を活用した新たな分野への進出を図っています。

## 業績について

印刷事業では自治体の刊行物や厚紙封筒が増加したものの事務用印刷物が減少、電子部品製造事業では



代表取締役社長  
嶋山 芳夫

水晶関連業界の市場が低迷し、売上高は69億61百万円(前年同期は69億81百万円)となりました。損益面においては、原材料やエネルギー価格の高騰が継続しており、営業損失3億8百万円(前年同期は1億25百万円の損失)、経常損失2億37百万円(前年同期は56百万円の損失)、親会社株主に帰属する中間純損失3億44百万円(前年同期は76百万円の損失)となりました。

## 取り組みについて

印刷事業においては、利益に多大な影響を及ぼす原材料やエネルギー価格の高騰に対して、製品価格の適正化に向けたお客様への交渉を推し進めています。また、前連結会計年度において実施した狭山工場への拠点集約・統合の効果を追求し、商業印刷物・ビジネスフォーム・パッケージ製品に関わる生産稼働率の向上にグループの総力を挙げて取り組んでいます。また、長年培ったセキュリティ印刷の技術を基盤に、偽造防止対策を強化しつつ真贋判定のできる判別評価アプリ「Real Judge<sup>®</sup>」を開発し、受注活動に取り組んでいます。

新聞印刷事業においては、2026年の本稼働に向けて新聞新工場の建設が予定通りに進んでいます。株式会社読売新聞東京本社との共同事業運営体制について継続的な協議を進めています。

産業資材製造事業においては、クリーンルームの環境で、スクリーン印刷機を使用した半導体加工テープなどの試作及びサンプルの作成を行っています。スムーズな量産開始に繋がるよう、より一層の品質向上と技術開発に取り組んでおり、近々に本生産を開始する予定です。

なお、当社が保有する北品川棟は連結子会社が使用していましたが、建屋の老朽化が進んでおり、早期に不動産賃貸等事業に活用すべく準備を進めています。

## 今後の見通しについて

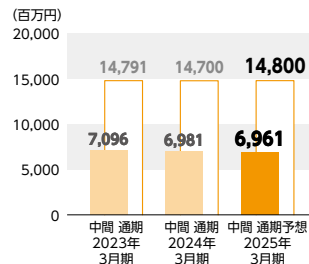
2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、中間連結会計期間までの業績動向や今後の見通しを踏まえ、2024年5月13日に公表した業績予想を修正し、売上高148億円、営業損失1億50百万円、経常利益0百万円、親会社株主に帰属する当期純利益50百万円としています。また、期末配当予想につきましては、1株あたり50円としています。

当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いていますが、印刷事業における収益体制の確立と産業資材製造事業の早期立上げに取り組み、業績の回復ならびに持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

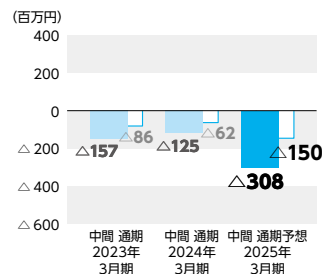
売上高

**6,961**  
百万円



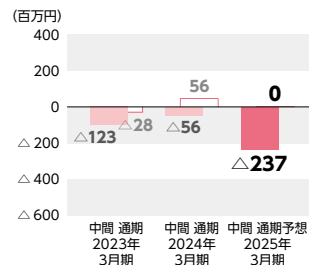
営業利益

△**308**百万円



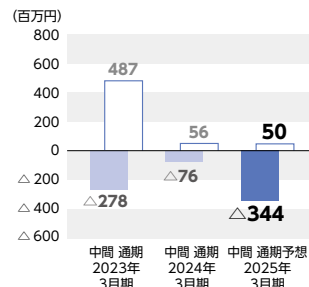
経常利益

△**237**百万円



親会社株主に  
帰属する中間純利益

△**344**百万円



# セグメント別事業報告

## 印刷

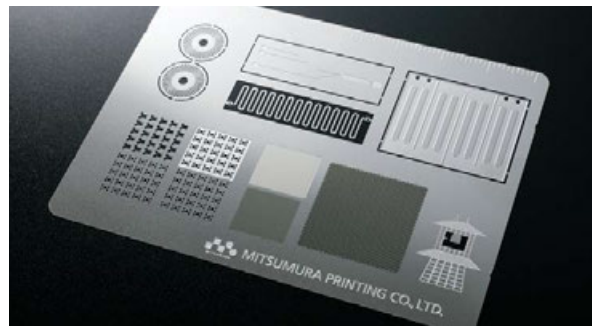


当事業では、宣伝用印刷物や新聞・出版、伝票、パッケージ、厚紙封筒、映像制作などの製品を扱っております。事務用印刷物の減少があったものの、自治体の刊行物や厚紙封筒の増加があり、売上高は66億38百万円(前年同期は66億18百万円)となりました。原材料費の高騰が継続しており、セグメント損失(営業損失)は4億50百万円(前年同期は2億95百万円の損失)となりました。

## 不動産賃貸等

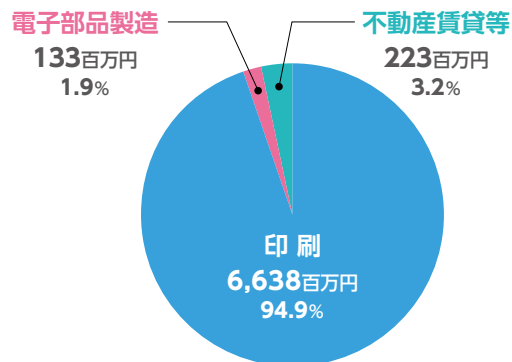
当事業では、本社ビル等の不動産賃貸や太陽光発電の事業を扱っております。売上高は2億23百万円(前年同期は2億44百万円)、セグメント利益(営業利益)は1億50百万円(前年同期は1億73百万円)となりました。

## 電子部品製造



当事業では、エレクトロニクス分野で使用されるエッチング精密製品などを扱っております。水晶関連業界への売上高が減少したことにより、売上高は1億33百万円(前年同期は1億64百万円)、セグメント損失(営業損失)は8百万円(前年同期は3百万円の損失)となりました。

## 売上高構成比



## 第66回全国カタログ展で 最高賞を受賞

第66回全国カタログ展(主催:一般社団法人日本印刷産業連合会/産経新聞社)において、当社から出品した図録「ハニワと土偶の近代」(発行:NHKプロモーション)が図録部門にて最高賞にあたる経済産業大臣賞を受賞しました。



## 真贋判定商材 「Real Judge®」を開発

近年、ECサイトでの商取引拡大などの影響から、偽造品による被害が一層深刻になっています。重要書類や各種金券のほか、保証書や製品パッケージ・ラベルなど印刷物の偽造対策が大きな課題となっていますが、当社では長年培ってきたセキュリティ印刷を追求し、真贋判定が可能なスマートフォンアプリ「Real Judge®」を開発しました。特殊なレンズ等の治具を必要とせず、対象物をスマートフォンに映すだけで隠し文字の有無を判定するアプリです。

現時点では判定評価での使用を想定していますが、今後はニーズに応じて多様な用途への展開を検討していきます。

## 株主優待カレンダーのご紹介

2025年版は、現在活躍するアーティストを取り上げる「現代の視点」シリーズの第5弾。画家・丸山直文さんを迎え、「水」をモチーフにした作品を中心に、どこかノスタルジックで季節感あふれるカレンダーを皆様にお届けします。

丸山さんは、1990年代以降の日本の重要なペインターの一人として第一線で活躍を続けています。水を含んだ綿布にアクリル絵具を染み込ませて描く「ステイニング技法」を用いた作品は、モチーフが柔らかく融解して時間も場所も判然とせず、見る者を絵画と渾然一体となる境地へと誘ってくれます。

カレンダーは9月30日現在、1単元株以上をご所有の株主様へ12月中旬以降、順次お届けする予定です。



# 会社概要 (2024年9月30日現在)

商号	光村印刷株式会社
創業	1901年10月20日
設立	1936年12月21日
資本金 <small>(資本剰余金を含む)</small>	100億57百万円
従業員	421名 (連結643名)

## 事業所



本社

### 本 社

〒141-8567  
東京都品川区大崎  
一丁目15番9号  
電話：03-3492-1181 (代表)

### 大 阪 支 店

〒541-0042  
大阪市中央区今橋  
二丁目2番17号  
グロース北浜ビルディング3階  
電話：06-6229-5120

### 川 越 工 場

〒350-1165  
埼玉県川越市南台  
一丁目1番地1  
電話：049-242-4025



### 狭 山 工 場

〒350-1331  
埼玉県狭山市新狭山  
一丁目3番6号  
電話：04-2955-1018



### 那 須 工 場

〒324-0036  
栃木県大田原市下石上  
1378番7  
電話：0287-29-2610



### 坂 戸 事 業 所

〒350-0214  
埼玉県坂戸市千代田  
五丁目3番17号  
電話：049-227-6764

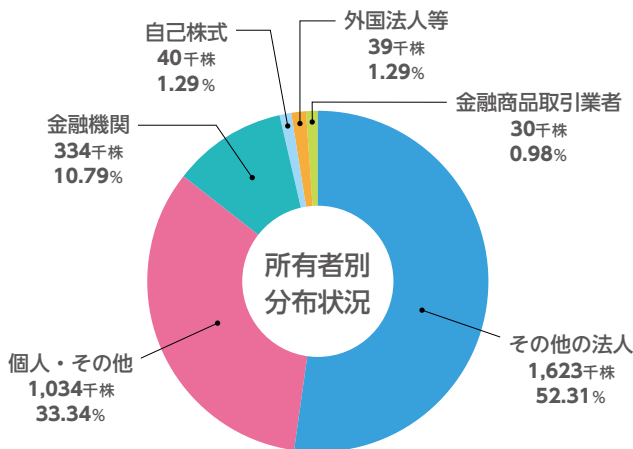
## 関係会社

新村印刷株式会社  
株式会社光村プロセス  
株式会社城南光村  
光村商事倉庫株式会社  
株式会社メディア光村  
株式会社大洲  
群馬高速オフセット株式会社



# 株式情報 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	9,947,800 株
発行済株式の総数	3,103,420 株
単 元 株 式 数	100 株
株 主 数	2,431 名



## 大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱製紙株式会社	511	16.71
DIC株式会社	457	14.92
株式会社読売新聞グループ本社	224	7.33
江口弘尚	128	4.20
株式会社三菱UFJ銀行	112	3.68
株式会社SCREENホールディングス	100	3.26
株式会社桜井グラフィックシステムズ	66	2.17
光村印刷役員持株会	52	1.70
三菱HCキャピタル株式会社	48	1.59
光村印刷従業員持株会	47	1.54

(注) 1. 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

2. DIC株式会社の所有株式は、同社が退職給付信託の信託財産として拠出しているものです。(株主名簿上の名義は、「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・DIC株式会社口)」です。)

# 株式事務のご案内

**事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで  
**剰余金配当の基準日** 3月31日及び中間配当の支払を行うときは9月30日

**定時株主総会の基準日** 3月31日

**定時株主総会の開催** 毎年6月

**公告の方法** 電子公告  
(<https://www.mitsumura.co.jp/>)  
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

**株主名簿管理人** 三菱UFJ信託銀行株式会社

**同連絡先** 三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
【郵送先】〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号

**特別口座の口座管理機関** 三井住友信託銀行株式会社

**同連絡先** 三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
電話0120-782-031 (通話料無料)

### 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座を開設されている証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



UD  
FONT



光村印刷株式会社 [東証スタンダード：7916]

〒141-8567 東京都品川区大崎 一丁目 15 番 9 号

〈ホームページ〉

<https://www.mitsumura.co.jp/>

右記の QR コードからもご覧いただけます。

